

## 青森県の2か所の系統用蓄電所に関する最適運用サービス契約の締結 および系統用蓄電池事業における目標値の引き上げについて

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、泓徳能源科技日本株式会社（代表取締役：周 仕昌、以下「HDRE」）が出資する蓄電池事業者と、青森県の2か所の系統用蓄電所に関する最適運用サービス契約を締結しました。

東京ガスが運用を予定する系統用蓄電池の容量は、事業への本格参入発表後2年間で累計95.5万kWとなり、2030年度目標の運用設備容量100万kW\*1を達成する見込みとなりました。これを踏まえ今般、目標値を大幅に引き上げ、2030年代前半に200万kW規模到達を目指すこととしました。

### <運用受託する蓄電所の概要>

名称	青森八戸蓄電所	青森十和田蓄電所
設置場所	青森県八戸市	青森県十和田市
蓄電池出力	9.9万kW	5.0万kW
蓄電池事業者	合同会社スター2号	合同会社スター1号
蓄電池事業者の出資者	HDRE	HDRE
運用	東京ガス	東京ガス
商業運転開始	2029年度予定	2029年度予定

東京ガスは、長年にわたり培ってきた電力市場取引の知見を活かして、蓄電所の自社開発やオフテイク契約\*2による他社蓄電所の利用権獲得、最適運用サービスの3つの取り組みを展開してきました。2026-2028年度中期経営計画\*3においても引き続き、再生可能エネルギーの普及拡大に貢献すべく、系統用蓄電池の活用推進を掲げており、系統用蓄電池事業のリーディングカンパニーとして、再生可能エネルギーの普及拡大と電力システムの安定化に貢献していきます。なお、最適運用サービスは、ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」\*4のソリューションとして提供しています。

東京ガスは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム\*5構築」ならびに「CO<sub>2</sub>ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。一人ひとりの暮らしから地域社会にいたるまでの多様な課題を解決するさまざまなサービスを創出・提供し、お客さまとともにカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

\*1：2030年度における運用設備規模80万kW、および2028年度における高圧系統用蓄電池の最適運用サービスによる運用設備規模20万kW  
[系統用蓄電池の最適運用サービスを提供開始（2025年3月6日発表）](#)  
[高圧系統用蓄電池を対象とした最適運用サービスの提供開始について（2025年12月23日発表）](#)

\*2：供給者と購入者との間の、供給者が提供する予定の商品やサービスの全部または一部を購入または販売するための取り決め  
（経済産業省「GXスタートアップの創出・成長に向けたガイダンス【抜粋版】需要創出～LOIやオフテイク契約の締結～」より抜粋）

\*3：東京ガスグループ「2026-2028年度中期経営計画（2025年10月29日発表）」

\*4：IGNITUREの詳細は[こちら](#)

\*5：多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

<参考>

■ソリューション事業ブランド「IGNITURE (イグニチャー)」\*4について

**IGNITURE**  
IGNITE YOUR FUTURE

東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023年11月、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

以上